

基本方向3 豊かな体験活動による学びの促進

骨太でたくましい子供にしましょう

思いやりの心、約束を守ること、生命や自然の大切さなどは、教えられて学習するものというより、体験を通じて自ら気づき、実感することによって、初めて習得できるものです。また、様々な体験を積み重ねることにより、自ら考え、自ら行動する姿勢を身に付けることができるようになります。子供が様々な体験活動による学びの機会を得るとともに、集団の中での絆と葛藤の中から自分という存在を自覚していく手助けをしてあげることが大切です。



取組3 心動かされる体験活動のすすめ

子供の成長に
どう関係する
ものなの？

心身共に調和のとれた発達 自主性 好奇心・探究心 気持ちを調整する力
自分の力で行うことの充実感・満足感 生き物や地域への愛着 など

子供と外にでかけましょう

自然に触れて遊ぶ中で、子供は全身で自然を感じ取る体験により心が癒やされると同時に、多くのことを学んでいます。自然の大きさ・美しさ・不思議さなどに直接触れる体験は、本来人間がもっている五感を刺激し、好奇心や探究心、豊かな感受性の発達を促し、科学的な見方や考え方の基礎を育てます。

テレビなどを通しての間接体験の機会が増えている今だからこそ、自然と直接触れ合えるように、子供と一緒に戸外にでかけましょう。

人と関わる楽しさを味わえるようにしましょう

子供は、身近な大人との信頼関係を基盤としながら人々と共に活動する楽しさを味わいます。ときには、友達と自己主張がぶつかり合い、楽しく遊ぶためには相手と折り合いを付けることも必要であると気付いていきます。また、地域の人々との交流を通して、身近な人々へ親しみをもったりします。

自分の生活に関係の深い人と触れ合う体験を通して、人と関わる楽しさを味わえるようにしましょう。

地域の伝統的な文化に触れるようにしましょう

生活の中で、節句、七夕の飾り付け、正月の餅つきなど、四季折々に行われる伝統的な行事に参加したり、地域の人々と関わりながら、地域に伝わる民話やわらべうた、昔の遊び、祭りなどの伝統文化に触れたりする体験を通して、自分たちの住む地域や人々に親しむ気持ちが育ちます。

季節感を取り入れた生活を体験することを通して、四季折々の伝統的な文化に触れる機会をもちましょう。

やり遂げようとする気持ちを大切にしましょう

子供が遊びを心ゆくまで楽しみ、その中で物事をやり遂げようとする気持ちをもつことは、子供の自立心をはぐくむ上で大切です。途中でうまくいかなかったり、思い通りにいかなかったりしたときも、周囲の大人に温かく見守られ、必要に応じて適切な援助を受けることができれば、諦めずにやり遂げることができるようになります。

子供のやり遂げたいという気持ちを大切に、やり遂げることができたときには、一緒に喜びましょう。